



十勝川治水100年
トークリレー ⑩

帯広市と音更町を結ぶ十勝大橋は、十勝川のシンボルです。十勝の住民にとって常に生活と共にあり、意識もしないほど身近な存在です。人にはそれぞれの歴史があります。十勝大橋にも渡船から始まる歴史があります。

現在の橋は1996年1月に供用された近代的なPC斜張橋です。それ以前は41年10月に完成したコンクリートの橋で、当時の土木技術の粋を集めた、東洋一と言われた素晴らしいものでした。55年間、人々の生活を支えてきた役目を終え、新橋の供用が近づいてくると、この十勝大橋の解体について住民の間でさまざまな声が聞かれるようになり

十勝川治水100年記念事業

トークリレー



札内川懇談会 座長
石原 由美子 氏



十勝毎日新聞
令和5年5月24日 3面 掲載

札内川懇談会座長 石原由美子氏



思い出詰まった十勝大橋

ました。解体するのか、保存するのかが…。そんな中、十勝大橋への感謝と思い出を残す活動を目的として「十勝大橋ありがとう会」を有志で立ち上げました。この会への反響は大変大きく、たくさんの方が寄せられた。たかが「橋」、されど「橋」

なのです。会では十勝大橋の一部を残し、当時の人々の想いを感じることでできる場がないかと、要望も行いました。多くの関係者のおかげで、橋台の一部はテラスとして整備・保存されることになり、今も当時の姿を感じることが出来ます。

十勝川は治水100周年を迎えましたが、長い時間の中には表に現れてこないさまざまな人々の想いと歴史があります。それらを忘れることなく、十勝川の今後の姿を見守っていきたいと思います。

◆ 十勝川の治水事業は今年、100周年の節目を迎えました。治水事業と関わりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを紹介する。

(随時掲載)

